

目 次

【1年前期・通年】

暮らしと環境	122～125
文章表現法	126～128
コンピュータ演習	129～131
英語コミュニケーション	132～134
外国語（ハングル）	135～137
外国語（日本語）	138～140
インターンシップ <通年科目>	141～142
純真ゼミナールⅠ	143～145
体育実技	146～148

【1年後期】

倫理学	149～151
感性学	152～155
ビジネスマナー	156～159
純真ゼミナールⅡ	160～162

科目名	担当代表教員	学年	期別	形態	必選	単位数
暮らしと環境	飯塚 恭一郎	1	通年	講義 実技	選択	1
	担当形態	オムニバス	ナンバリング		CE1103	
	担当教員	飯塚 恭一郎、石橋 孝明、川崎 徳子				
【キーワード】	【概要】					
1 環境	<ul style="list-style-type: none"> SDGs（持続可能な開発目標）を大テーマに，生活環境や貧困問題，食生活などのトピックについてその実態を調べ，自分の日々の生活にどのように関わっているか理解していく。 上記トピックについて，校外学習として実地に具現している現場へ赴き，知見を広げる。 					
2 SDGs						
3 貧困						
4 ジェンダー						
5 地産地消						
【到達目標】						
1. SDGs（持続可能な開発目標）の理念を知りその説明ができる。 2. 生活に関わる諸問題の実態と問題解決の方策について説明ができる。 3. 生活に関わる諸問題の解決事例を実地から学び，自分自身の日々の生活改善を考えることができる。						
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】						関連性
【知識・理解・技能】						
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。						
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。						
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。						
【思考・判断・表現】						
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。						○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。						
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。						
【関心・意欲・態度】						
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。						○
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。						
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。						
【成績評価の方法】						
成績指標	受講態度	課題の取り組み	レポート・提出物	合計		
評価割合（％）	25%	40%	35%	100		
【成績評価の基準】						
評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	
評語	S	A	B	C	E	F
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0	0
【課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法】						
取り組み姿勢とレポートに関するコメントを返却する。						
【教科書】						
講義回についてはプリント資料教材を配布						
【参考書・参考資料等】						
特に指定しない						
【関連科目】						
「子どもと環境」「保育内容（環境）」						
【受講心得】						
自ら積極的な態度で臨むこと						
【備考】						

【学習項目】		担当	学習内容、事前・事後学習（学習時間）
1	授業ガイダンス	飯塚 石橋	<p>【学習内容】 シラバスを元に授業の概要、目標、スケジュール、評価方法等の説明を受け授業の内容を知る。</p> <p>【事前学習】 事前にシラバスに目を通し、「SDGs」の概略を知っておく。</p> <p>【事後学習】 シラバスや授業内で配布されたプリント資料を参照して本授業の概要と目標について理解を深める。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 1 時間</p>
2	「SDGs」とは	飯塚 石橋	<p>【学習内容】 「SDGs」の概略と理念を学び、環境について問題意識を待つ。</p> <p>【事前学習】 「SDGs」の概略と17項目の目標を知っておく。</p> <p>【事後学習】 授業内で配布された資料をもとに「SDGs」に対する理解を深める。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 1 時間</p>
3	子どもの生活や保育現場に関わる環境問題	飯塚	<p>【学習内容】 「SDGs」と環境問題について、日常生活や保育にどのように関わっているのか実例を元に学ぶ。</p> <p>【事前学習】 「SDGs」の概略と17項目の目標を知っておく。</p> <p>【事後学習】 授業内で配布された資料をもとに、次回からの授業テーマについて概略を押さえておく。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 1 時間</p>
4	SDGsの目標1「貧困をなくそう」（サブテーマ：子どもの貧困問題）の目指すものを調べる	飯塚	<p>○04th</p> <p>【学習内容】 SDGsの目標1「貧困をなくそう」（サブテーマ：子どもの貧困問題）について、グループワークで調べ学習に取り組み、その意図を理解しつつ自分事として日々の暮らしと身近な生活環境の視点から具体的な方策についてまとめ、発表資料にまとめる。</p> <p>【事前学習】 あらかじめ、SDGsの目標1「貧困をなくそう」について資料をもとにその概略を知っておく。</p> <p>【事後学習】 発表資料の仕上げに向けて、調べ学習で収集した情報を再度整理しておく。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 1 時間</p>
5	SDGsの目標1「貧困をなくそう」（サブテーマ：子どもの貧困問題）の理解	飯塚	<p>【学習内容】 前回の授業から取り組んでいるSDGsの目標1「貧困をなくそう」（サブテーマ：子どもの貧困問題）に関する発表資料の仕上げに取り組み、調べ学習から得られた学びを受講者全員で共有していく。</p> <p>【事前学習】 発表資料の仕上げと発表について役割分担と準備をしておく。</p> <p>【事後学習】 自グループの発表内容を始め、他グループの発表内容を振り返り、目標1「貧困をなくそう」について理解を深める。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 1 時間</p>

6	SDGsの目標2「飢餓をゼロに」目標12「つくる責任つかう責任」（サブテーマ：地産地消）の目指すものを調べる	川崎	<p>【学習内容】 SDGsの目標2「飢餓をゼロに」目標12「つくる責任つかう責任」 （サブテーマ：地産地消）について、グループワークで調べ学習に取り組み、その意図を理解しつつ自分事として日々の暮らしと身近な生活環境の視点から具体的な方策についてまとめ、発表資料にまとめる。</p> <p>【事前学習】 あらかじめ、目標2「飢餓をゼロに」目標12「つくる責任つかう責任」について資料をもとにその概略を知っておく。</p> <p>【事後学習】 発表資料の仕上げに向けて、調べ学習で収集した情報を再度整理しておく。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 1 時間</p>
7	SDGsの目標2「飢餓をゼロに」目標12「つくる責任つかう責任」（サブテーマ：地産地消）の理解	川崎	<p>【学習内容】 前回の授業から取り組んでいる目標2「飢餓をゼロに」目標12「つくる責任つかう責任」に関する発表資料の仕上げに取り組み、調べ学習から得られた学びを受講者全員で共有していく。</p> <p>【事前学習】 発表資料の仕上げと発表について役割分担と準備をしておく。</p> <p>【事後学習】 自グループの発表内容を始め、他グループの発表内容を振り返り、目標2「飢餓をゼロに」目標12「つくる責任つかう責任」について理解を深める。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 1 時間</p>
8	SDGsの目標5「ジェンダー平等を実現しよう」（サブテーマ：多様な価値観・異文化共生）の目指すものを調べる	石橋	<p>【学習内容】 SDGsの目標5「ジェンダー平等を実現しよう」（サブテーマ：多様な価値観・異文化共生）について、グループワークで調べ学習に取り組み、その意図を理解しつつ自分事として日々の暮らしと身近な生活環境の視点から具体的な方策についてまとめ、発表資料にまとめる。</p> <p>【事前学習】 あらかじめ、SDGsの目標5「ジェンダー平等を実現しよう」について資料をもとにその概略を知っておく。</p> <p>【事後学習】 発表資料の仕上げに向けて、調べ学習で収集した情報を再度整理しておく。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 1 時間</p>
9	SDGsの目標5「ジェンダー平等を実現しよう」（サブテーマ：多様な価値観・異文化共生）の理解	石橋	<p>【学習内容】 前回の授業から取り組んでいるSDGsの目標5「ジェンダー平等を実現しよう」に関する発表資料の仕上げに取り組み、調べ学習から得られた学びを受講者全員で共有していく。</p> <p>【事前学習】 発表資料の仕上げと発表について役割分担と準備をしておく。</p> <p>【事後学習】 自グループの発表内容を始め、他グループの発表内容を振り返り、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」について理解を深める。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 1 時間</p>

10 ・ 11 ・ 12	校外学習：北部九州の環境問題の歴史と克服の実例を学ぶ	飯塚 川崎	<p>【学習内容】 地元である北部九州の環境問題とその克服の歴史を展示物から学ぶ。そして自分自身の生活と身近な環境について、安全・安心に生きるための心得や工夫を実例を通して理解していく。</p> <p>【事前学習】 配付資料をもとに当日の行程と学習のねらい、注意事項を確実に把握して準備しておく。</p> <p>【事後学習】 学習から学んだことを日々の生活にどう生かしていくか、自分の生活を振り返りながら考察をする。</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間</p>
13 ・ 14 ・ 15	校外学習：北部九州の環境問題の歴史と克服の実例を学ぶ	飯塚 川崎	<p>【学習内容】 「食」と「食文化」について、地元である北部九州においてどのような食材や食文化が根付いているのか、「地産地消」の視点でその取り組みや実例を学ぶ。</p> <p>【事前学習】 配付資料をもとに当日の行程と学習のねらい、注意事項を確実に把握して準備しておく。</p> <p>【事後学習】 学習から学んだことを日々の生活にどう生かしていくか、自分の生活を振り返りながら考察をする。</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間</p>

科目名	担当代表教員	学年	期別	形態	必選	単位数
文章表現法	平嶋 一臣	1	前期	講義	選択	2
	担当形態	単独		ナンバリング	CE1104	
	担当教員	平嶋 一臣				
【キーワード】	【概要】					
1 文脈と文章	さまざまな『文章表現』の型と方法を学ぶ。授業中は積極的に自己表現するための文章づくりの場を設定する。また、毎回の授業後、全体で800字～1000字程度のレポート提出を求める（添削をして次回の授業前に返却）。					
2 国語表現						
3 日本語						
4 表現方法						
5 国語文法						
【到達目標】	1. 良い文章づくりのための『多読』『多作』『多思』の習慣を持つことができる。 2. 様々な文例を通して、より正確で分かり易い文章構成を行うことができる。 3. 自分の考えを、論理的な文章に組み立て、外に向かって積極的に表現することができる。					
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】						関連性
【知識・理解・技能】						
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。						
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。						
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。						
【思考・判断・表現】						
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。						
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。						
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。						
【関心・意欲・態度】						
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。						
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。						
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。						
【成績評価の方法】						
成績指標	定期試験		課題レポート		合計	
評価割合 (%)	70		30		100	
【成績評価の基準】						
評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	
評語	S	A	B	C	E	F
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0	0
【課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法】	毎時間課題レポートを提出する。次週の初めに添削した課題を返却し、その反省点に立ち本時のスタートとする。					
【教科書】	平嶋一臣編・著『講義資料』より、必要に応じてプリント・配布する。					
【参考書・参考資料等】	『日本語』 金田一春彦 岩波新書 『文章の書き方』 辰濃和男 岩波新書 『講義資料』平嶋一臣編・著					
【関連科目】						

【受講心得】		
<p>授業に集中し、毎回時間内に小レポートを提出する。</p> <p>また、意見発表に積極的に取り組むこと。進行状況により授業計画の一部変更もありうる。</p>		
【備考】		
<p>事前学習のために、積極的に図書館を利用する。</p> <p>毎回の授業に、平嶋式文章検定2級レベル・漢字検定2・3級レベルの小テストを計7分間挿入する。</p> <p>また、授業後提出する800字～1000字程度のレポート提出をもって出席を確認する。</p>		
【学習項目】	担当	学習内容、事前・事後学習（学習時間）
1	オリエンテーション・文章表現のさまざま	<p><学習内容>授業中の約束事を連絡した後、15回の授業の概要を説明し、基本的な事前・事後の学習について説明する。</p> <p><事前学習>15回分の講義要項（シラバス）に目を通し、質問内容をまとめておく</p> <p><事後学習>15回の講義要項の概要を確認しておく</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
2	日本語の成り立ちについて①	<p><学習内容>表音・表意のどちらも兼ねている特殊な国語である日本語の特徴を理解するとともに、国字の種類を知る。</p> <p><事前学習>漢字・国字の違いを調べ、あらかじめ国字について10個以上調べ、その成り立ちと特徴を調べておく。</p> <p><事後学習>返却された提出レポート中の添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 1 時間</p>
3	日本語の成り立ちについて②	<p><学習内容>漢字を日本語読みにする時に起こる多拍化について理解するとともに、擬音語・擬態語の特徴を知る。</p> <p><事前学習>擬音語・擬態語を調べ、その成り立ち別に分類しておく。</p> <p><事後学習>返却された提出レポート中の添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 1 時間</p>
4	日本語の特質を知る①	<p><学習内容>漢字発祥の中国をはじめ、西洋・米国から移入した文字に和語が重なって出来ていった、日本語の語彙の多さについて再確認する。</p> <p><事前学習>漢語・和語・外来語について、その意味と具体例を調べておく。</p> <p><事後学習>返却された提出レポート中の添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 1 時間</p>
5	日本語の特質を知る②	<p><学習内容>自然と密接なつながりをもって成立していった日本語の特質および俳句・和歌などとの関連を知る。</p> <p><事前学習>自然を詠った俳句・和歌について、人口に膾炙されているものを中心に調べておく。</p> <p><事後学習>返却された提出レポート中の添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 1 時間</p>
6	論理的な文章に学ぶ①	<p><学習内容>単文・複文の型を知るとともに「ねじれ文」の起こりやすい文章（場面）を再確認する。</p> <p><事前学習>毎時返却された自分のレポート中から、自分の文型の特徴を調べておく。</p> <p><事後学習>返却された提出レポート中の添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 1 時間</p>
7	論理的な文章に学ぶ②	<p><学習内容>序破急・起承転結文など、論説文の基本型を学ぶとともに、これまでの自分の提出レポートは、相手に伝わりやすい文章だったのか、様々な角度から検証する。</p> <p><事前学習>毎時返却した自分のレポートを読み、朱書き添削された部分から、自分の文章の特徴（長所・短所）に気づく。</p> <p><事後学習>返却された提出レポート中の添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 1 時間</p>

8	論理的な文章に学ぶ③	<p><学習内容>序破急・起承転結文のいずれかを選択し、与えられた課題について、600～800字程度でねじれ文の無い論旨明快な小論を書く。</p> <p><事前学習>図書館にある多くの書籍から小論を読み、参考になる小論構成について意見を持つ。</p> <p><事後学習>返却された提出レポート中の添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間</p>
9	ビジネス文書の基本を学ぶ	<p><学習内容>日本語における敬語表現・ビジネス語表現の基本を知るとともに、具体的な使用方法について確認する。</p> <p><事前学習>ビジネス用語・ビジネス表現について、どのようなものが有るのか調べておく。</p> <p><事後学習>返却された提出レポート中の添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間</p>
10	自己推薦文を書く	<p><学習内容>将来の就職試験を想定し、自己アピールのポイントを確認し、800字程度の自己推薦文を書く。</p> <p><事前学習>自分の長所・短所について様々な角度から分析し、自己推薦に繋げていくかを立案しておく。</p> <p><事後学習>返却された提出レポート中の添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間</p>
11	手紙文に学ぶ	<p><学習内容>手紙文・葉書文の基本形式を知るとともに、実際の場面での使用方法について理解する。</p> <p><事前学習>これまでに受け取った手紙・葉書を読み直し、そこに見られる日本文の特徴を知っておく。</p> <p><事後学習>返却された提出レポート中の添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間</p>
12	エッセイに学ぶ	<p><学習内容>最近身の回りに起こった事例を再確認し、周りの友人にそのことを伝える文章を800字程度で表現する。</p> <p><事前学習>エッセイ集や新聞のコラムから、自分の気に入った文章を選び、その優しく訴える文章を学んでおく。</p> <p><事後学習>返却された提出レポート中の添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間</p>
13	詩・短歌（和歌）・俳句に学ぶ	<p><学習内容>日本語における詩・短歌（和歌）・俳句の美しさや調べを学ぶとともに、純真学園の学園訓や学園キャンパスをテーマに、自分の作品を創る。</p> <p><事前学習>最近の新聞の文芸欄から、自分の印象に残っている詩・短歌（和歌）・俳句を読み込んでおく。</p> <p><事後学習>返却された提出レポート中の添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間</p>
14	幼児・児童向けの短編童話づくり①	<p><学習内容>幼児・児童向けの童話を書くにあたり、全体をどのように構成するか、そのプロットを作成する。</p> <p><事前学習>図書館にある幼児・児童向けの童話を読み、その特徴を掴んでおく。</p> <p><事後学習>返却された提出レポート中の添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間</p>
15	幼児・児童向けの短編童話づくり②	<p><学習内容>前時に作成した幼児・児童向けの童話のプロットを基に、童話を完成させる。</p> <p><事前学習>童話を完成するにあたり、幼児にもわかる言葉で書いているか、あらかじめ点検しておく。</p> <p><事後学習>15回の授業を振り返るとともに、次回定期試験に向け、『文章表現法』の基本的事項について復習しておく。</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 2 時間</p>
16	定期試験	15回の授業を終え、授業の理解度を再確認する。

科目名	担当代表教員	学年	期別	形態	必選	単位数
コンピュータ演習 (こども学科)	名古屋 孝樹	1	前期	演習	必修	2
	担当形態	単独	ナンバリング		CE1105	
	担当教員					
【キーワード】	【概要】					
1 セキュリティ対策	情報通信技術の発展に伴い、コンピュータに代表されるような情報機器はビジネスのみならず家庭にも普及し、現代人には必要不可欠な道具のひとつとなった。この演習においては、本短大コンピュータ室の機器の使い方やアプリケーションソフトの具体的な操作を通し、情報の収集、整理、処理、伝達手法を学び、今後の各種レポート作成などに利用活用できるようにする。さらに、急激に普及し身近になったSNSの利用やネットワークセキュリティポリシーなど、演習を行いながら昨今の情報化社会で役立つ技術やリテラシーを身につけることを目的とする。					
2 コンピュータリテラシー						
3 コンピュータスキル						
4 インターネット・メール						
5 情報基礎						
【到達目標】						
1. パーソナルコンピュータの基本的な操作ができる。						
2. インターネット、SNSの知識を習得し、活用することができる。						
3. Microsoft Office (Word、Excel、Powerpoint) ソフト等を活用できる。						
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】						関連性
【知識・理解・技能】						
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。						
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。						
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。						○
【思考・判断・表現】						
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。						
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。						
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。						
【関心・意欲・態度】						
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。						
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。						
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。						
【成績評価の方法】						
成績指標	定期試験の成績	授業課題作成提出内容	受講態度等	合計		
評価割合 (%)	なし	70	30	100		
【成績評価の基準】						
評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	
評語	S	A	B	C	E	F
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0	0

【課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法】		
課題や提出物の返却にてフィードバックする。		
【教科書】		
教科書は指定しない。		
【参考書・参考資料等】		
一部配布物あり、 適宜、指示する。		
【関連科目】		
【受講心得】		
各講義における課題は次回以降の内容に関連するため、講義時間内にできなかった課題は次回までに完成させて提出すること。 遅刻、早退、欠席の場合は、授業進行を妨げないタイミングで理由等を連絡すること。 講義中に学生の進捗状況を確認できるモニタ監視ができる教育支援システムを使用している。		
【備考】		
卒業必修、保育士課程必修、幼稚園教諭必修		
【学習項目】	担当	学習内容、事前・事後学習（学習時間）
1	オリエンテーションおよびコンピュータ基本操作	<学習内容> ①講義の進め方、目的などの説明。 ②パソコンの起動、ログインからログアウト、電源シャットダウン（終了）まで。 ③ファイルの保存・印刷。 ④現状スキルアンケートの実施。 <事前学習>シラバス確認/自身の学内情報持参。 <事後学習>講義内容を復習。 （事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間
2	文字の入力、Teamsの利用	<学習内容> ①文字入力。 ②Teamsによるチャット。 <事前学習>文字の入力（ローマ字など）や入力切り替え、キーボード操作ができていないこと。 <事後学習>授業中に作成したファイルを提出【課題】 （事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間
3	電子メール	<学習内容> ①メールの仕組み。 ②Outlookでのメール送受信（Cc, Bcc, ファイルの添付、署名）。 <事前学習>自分の学内メールアドレス（パスワード等）を確認。 <事後学習>最初は資料を見ながら、後に見ずにメールを送受信できるように復習すること。*授業内でメールが送信できなかった人は授業後でも送信すること。 （事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間
4	SNS利用上の注意	<学習内容> ①情報倫理、SNS利用上の注意事項。 ②知的財産権。 ③理解度確認の小テスト。 <事前学習>SNS等のネットワークサービス利用においてどのようなトラブルが発生しうるか考えておく。 <事後学習>小テストの回答見直し、復習。 （事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間
5	ICT機器の活用、ICTセキュリティ	<学習内容> ①インターネットの仕組み。 ②ホームページの閲覧方法。 ③ICT機器を活用する上での危機管理。 ④理解度確認の小テスト。 <事前学習>自身で行っているセキュリティ対策とコンピュータを活用して何が出来るかを考えておく。 <事後学習>小テストの回答見直し、復習。 （事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間

6	パソコンの仕組みを学ぶ	<p><学習内容> ①パソコンの構造。 ②パソコン上のデータ（容量や拡張子など）。 ③画像データの種類、作成、変換。 <事前学習>パソコンの構造やデータの種類について調べておく。 <事後学習>講義で作成したファイルを提出する。 （事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
7	文書整形 1（入園式の案内作成）	<p><学習内容> ①Microsoft Office ソフト Wordの概要□ ②入園式の案内作成。 <事前学習>メモ帳によるファイルの作成、保存ができていないこと。 <事後学習>講義中に指定した課題を完成させて提出する。 （事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
8	文書整形 2（園だよりの作成）	<p><学習内容> ①園だより作成。 <事前学習>Wordによるファイルの作成、保存ができていないこと。 <事後学習>講義中に指定した課題を完成させて提出する。 （事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
9	データ処理 1（アンケート作成）	<p><学習内容> ①入園希望者へのアンケートを作成。 ②アンケートへの記入。 <事前学習>Excelによるファイルの作成、保存ができていないこと。 <事後学習>課題のアンケートに記入して提出する。 （事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
10	データ処理 2（アンケート集計）	<p><学習内容> ①アンケート結果の集計。 <事前学習>Excelによるファイルの作成、保存ができていないこと。 <事後学習>講義中に指定した集計作業を完了させる。 （事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
11	データ処理 2（アンケート集計）	<p><学習内容> ①アンケート結果のグラフ化。 <事前学習>Excelによるファイルの作成、保存ができていないこと。 <事後学習>講義中に指定した課題を完成させて提出する。 （事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
12	データを組み合わせた文書の作成	<p><学習内容> ①集計結果に基づく分析資料を作成する。 <事前学習>集計結果から何がわかるのか考えておくこと。 <事後学習>講義中に指定した課題を完成させて提出する。 （事前学習） 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
13	プレゼンテーション 1（資料作成 1）	<p><学習内容> ①PowerPoint資料作成（基礎）。 <事前学習>PowerPointファイルの作成、保存ができていないこと。 <事後学習>講義中に指定した課題を完成させて提出する。 （事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
14	プレゼンテーション 2（資料作成 2）	<p><学習内容> ①PowerPoint資料作成（自己紹介）。 <事前学習>自己紹介の内容を考えておくこと。 <事後学習>講義中に指定した課題を完成させて提出する。 （事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
15	伝わりやすい資料作りについて、総復習	<p><学習内容> ①伝わりやすい資料づくり。 ②ユニバーサルデザインについて、その他技術情報。 <事前学習>これまでの学習を総復習しておくこと。 <事後学習>講義中に指定した課題を整理する。 （事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>

科目名	担当代表教員	学年	期別	形態	必選	単位数
英語コミュニケーション	ストイコビッチ ボジダ	1	前期	演習	選択	2
	担当形態	単独	ナンバリング		CE1106	
	担当教員	ストイコビッチ ボジダ				
【キーワード】	【概要】					
1 英語で考える	積極的にクラスアクティビティに参加し、簡単な英会話から始めることにより、コミュニケーションスキルの向上を目指します。あなたにとって興味のある分野について、相手に英語で伝えることができれば、世界が広がります。さあ、楽しみながら学びましょう。					
2 英語で話す						
3 新しく習った単語を使って文章を書く						
4 発音を意識する						
5 間違いを恐れない						
【到達目標】	1. 英語でのコミュニケーションを楽しむことができる。 2. 英語に自信を持つことができる。 3. 英語で単純な会話ができる。					
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】						関連性
【知識・理解・技能】						
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。						
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。						
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。						○
【思考・判断・表現】						
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。						
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。						
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。						
【関心・意欲・態度】						
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。						
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。						
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。						
【成績評価の方法】						
成績指標	受講態度等		定期試験		合計	
評価割合 (%)	20		80		100	
【成績評価の基準】						
評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	
評語	S	A	B	C	E	F
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0	0
【課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法】	試験後に解答の解説をする。					
【教科書】	制作した教材を使用					
【参考書・参考資料等】	授業内で配布されるプリント等					
【関連科目】						

【受講心得】
 授業内においては、常に英語で話すこと。日本語は許可した場合のみとする。失敗を恐れず、「失敗は成功のもと」という気持ちを持って臨むこと。

【備考】
 卒業選択必修、保育士課程必修、幼稚園教諭必修

【学習項目】		担当	学習内容、事前・事後学習（学習時間）
1	自己紹介（お互いを知る） Getting to know each other		<学習内容> ・自己紹介 ・相手の自己紹介に対する返事、反応 ・クラスで役立つフレーズ（便利な言い回し） <事前学習>シラバスを読んでくる <事後学習>分からない言葉があれば辞書で調べる （事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 1 時間
2	家族について Talking about FAMILY		<学習内容> ・家族や親せきの紹介の仕方 ・家系図の作成 <事前学習>前回習った所を見直す <事後学習>分からない言葉があれば辞書で調べる （事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間
3	色と服装について Talking about COLOR and CLOTHES		<学習内容> ・好きな色を発表 ・人がどんな服装をしているか ・相手のファッションの褒め方 <事前学習>前回習った所を見直す <事後学習>分からない言葉があれば辞書で調べる （事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間
4	仕事の動作 WORK ACTIVITIES		<学習内容> ・現在完了（present perfect）や単純過去時制（simple past tense） ・can and can't できる・できないの使い方 ・経験について語る <事前学習>前回習った所を見直す <事後学習>分からない言葉があれば辞書で調べる （事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間
5	数字について Talking about NUMBERS.		<学習内容> ・序数や基数について確認する ・電話番号や住所の伝え方、聞き方、確認の仕方（警察など緊急連絡先） <事前学習>前回習った所を見直す <事後学習>分からない言葉があれば辞書で調べる （事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間
6	からだについて Talking about BODY		<学習内容> ・からだの部分・部位 ・病気と健康について ・健康である為のアドバイス（伝え方） <事前学習>前回習った所を見直す <事後学習>分からない言葉があれば辞書で調べる （事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間
7	スポーツについて Talking about SPORTS		<学習内容> ・道具を使ってのスポーツの説明 ・スポーツの説明 ・運動の能力 ・体調 <事前学習>前回習った所を見直す <事後学習>分からない言葉があれば辞書で調べる （事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間

8	時間について Talking about TIME.	<学習内容> ・時間の聞き方、答え方 ・日常生活の説明 ・何かに対する頻度の度合い <事前学習>前回習った所を見直す <事後学習>分からない言葉があれば辞書で調べる (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間
9	食べ物・飲み物について Talking about FOODS and DRINKS.	<学習内容> ・一般的な食べ物と飲み物 ・好きな食べ物・飲み物 ・ファーストフード店(レストラン)での注文の仕方 <事前学習>前回習った所を見直す <事後学習>分からない言葉があれば辞書で調べる (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間
10	カレンダーについて Talking about the CALENDAR	<学習内容> ・月と曜日 ・大事な行事を共有(話し合い) ・世界の様々な行事 <事前学習>前回習った所を見直す <事後学習>分からない言葉があれば辞書で調べる (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間
11	動物について Talking about ANIMALS.	<学習内容> ・海や牧場、野生動物の名前 ・比較級と最上級 ・形容 <事前学習>前回習った所を見直す <事後学習>分からない言葉があれば辞書で調べる (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間
12	世界各国について AROUND THE WORLD(世界一周)	<学習内容> ・国籍や言語 ・世界遺産 <事前学習>前回習った所を見直す <事後学習>分からない言葉があれば辞書で調べる (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間
13	果物と野菜について Talking about FRUITS and VEGETABLES	<学習内容> ・一般的な果物と野菜の名前 ・原産地について ・ショッピングリストを作ってみよう <事前学習>前回習った所を見直す <事後学習>分からない言葉があれば辞書で調べる (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間
14	街の風景 AROUND THE TOWN	<学習内容> ・道の尋ね方 ・案内の仕方(徒歩の場合) <事前学習>前回習った所を見直す <事後学習>分からない言葉があれば辞書で調べる (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間
15	最終準備と課題発表 Final Preparation & Project Presentation	<学習内容> レビューと統合 <事前学習>前回習った所を見直す <事後学習>分からない言葉があれば辞書で調べる (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間
16	Final Exam	

科目名	担当代表教員	学年	期別	形態	必選	単位数
外国語（ハングル）	中村 智子	1	前期	演習	選択	2
	担当形態	単独		ナンバリング	CE1107	
	担当教員	中村 智子				
【キーワード】	【概要】					
1 韓国	日本から一番近い国、韓国。そして日本語に一番近いことばがハングルである。はじめてハングル（「偉大なる文字」という意味）を学ぶ学生を対象に文字の読み方や発音を覚えながら基本的な文法事項を理解する。続けてハングルで日常的に用いられる挨拶や簡単なやりとり、自己紹介ができるように身に付ける。さらに語学を通して韓国の社会や歴史、食を含む文化など取り上げ、映像資料を交えながら異文化理解を目指す。また最近の韓国の現状について学ぶ。					
2 ハングルの理解						
3 自己紹介						
4 日常会話						
5 異文化理解						
【到達目標】	1. 自己紹介を含む日常の挨拶、簡単な意思疎通ができる。 2. 授業で学んだ単語や文法を使って、書かれた文書を理解し、正しく読んだり書けたりすることができる。 3. 韓国の社会や歴史、文化について理解し説明できる。					
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】						関連性
【知識・理解・技能】						
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。						
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。						
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。						
【思考・判断・表現】						
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。						
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。						
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。						
【関心・意欲・態度】						
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。						
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。						
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。						
【成績評価の方法】						
成績指標	定期試験	小テスト・課題	受講態度	合計		
評価割合（％）	40	40	20	100		
【成績評価の基準】						
評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	
評語	S	A	B	C	E	F
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0	0
【課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法】	授業内で小テストの解説と課題の説明をする。					
【教科書】	『基礎から学ぶ韓国語講座 入門』 木内 明（著）（株）国書刊行会					
【参考書・参考資料等】	『韓日・日韓辞書』 油谷幸利 門脇誠一 松尾 勇 高島淑郎（編著）（株）小学館 教科書を中心に進めるが理解力向上の為に適宜 補充資料を用いることがある。					
【関連科目】						

【受講心得】		
韓国語と韓国の文化に関心を持っていることがのぞましい。また発音練習や会話文などの実践を伴う際は、しっかりと声に出し、積極的に取り組むことがのぞましい。授業の進度に応じて変更が出る可能性もある。		
【備考】		
卒業選択必修		
【学習項目】	担当	学習内容、事前・事後学習（学習時間）
1 第1課 基本表現（あいさつ）を学ぼう		【学習内容】 ①オリエンテーション②ハングルの概要について学ぶ。 ③簡単な挨拶表現を学ぶ。④韓国の手遊びを学ぶ。 【事前学習】シラバスに目を通しておく。 【事後学習】教科書添付の音声を活用しながら復習する。 (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間
2 第2課 母音を学ぼう		【学習内容】 ①ハングルには10の基本の母音字があることを理解する。実際に発音し、さらに書いて学ぶ。②韓国文化（料理編：食事の取り合わせや五色の哲学）について学ぶ。 【事前学習】教科書(P18～23)を参考に目を通しておく。 【事後学習】教科書添付の音声を活用しながら復習する。 (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間
3 第3課 子音を学ぼう①		【学習内容】 ①ハングルには19の子音字があり、その子音字を母音字と組み合わせて文字を作ること学ぶ。②韓国文化（料理編：基本の食材）について学ぶ。 【事前学習】教科書(P24～29)を参考に目を通しておく。 【事後学習】教科書添付の音声を活用しながら復習する。 (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間
4 第4課 子音を学ぼう②（激音について）		【学習内容】 ①子音には息を強く吐く音（激音）が5つあることを学ぶ。実際に音声を聴き、発音ができるよう繰り返し練習し、身につける。 ②韓国文化（料理編：普段の食事）について学ぶ。 【事前学習】教科書(P30～35)を参考に目を通しておく。 【事後学習】教科書添付の音声を活用しながら復習する。 (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間
5 第4課 子音を学ぼう②（濃音について）		【学習内容】 ①子音の激音について復習し、子音には息をつまらせる音（濃音）が5つあることを学ぶ。②韓国文化（料理編：発酵食品）について学ぶ。 【事前学習】教科書(P30～35)を参考に目を通しておく。 【事後学習】教科書添付の音声を活用しながら復習する。 (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間
6 第5課 合体する母音を学ぼう		【学習内容】 ①複数の母音字が組み合わさった母音字が11あることを学ぶ。実際に音声を聴き、発音ができるよう繰り返し練習し身につける。②韓国文化（料理編：お祝いの席や特別な日の料理）について学ぶ。 【事前学習】教科書(P36～41)を参考に目を通しておく。 【事後学習】教科書添付の音声を活用しながら復習する。 (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間
7 第6課 パッチムを学ぼう①		【学習内容】 ①文字の下の部分にある子音字を「パッチム」と言い、計7種類の音を学ぶ。 ②韓国文化（料理編：テーマに沿った料理）について学ぶ。 【事前学習】教科書(P42～49)を参考に目を通しておく。 【事後学習】教科書添付の音声を活用しながら復習する。 (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間

8	第6課 パッチムを学ぼう②	【学習内容】 ①前回に引き続きパッチムについて復習し、補助教材を使用しながら理解を深める。②韓国文化（料理編：お菓子と飲み物）について学ぶ。 【事前学習】教科書(P42～49)を参考に目を通しておく。 【事後学習】教科書添付の音声を活用しながら復習する。 (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間
9	第7課 私は○○○です。	【学習内容】 ①本文の会話内容を理解し、2人組になって音読練習し身につける。「～は」「～です」の使い方を学ぶ。 ②韓国文化（旅行編①）について学ぶ。 【事前学習】教科書(P50～57)を参考に目を通しておく。 【事後学習】教科書添付の音声を活用しながら復習する。 (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間
10	第8課 今日時間がありますか	【学習内容】 ①第7課までの小テストを行う。②本文の会話内容を理解し、実際に声に出して繰り返し練習し身につける。「～が」「います/あります」「いません/ありません」の使い方を学ぶ。③韓国文化（旅行編②）について学ぶ。 【事前学習】教科書(P58～65)を参考に目を通しておく。 【事後学習】教科書添付の音声を活用しながら復習する。 (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間
11	第9課 どうやって勉強していますか	【学習内容】 ①本文の会話内容を理解し、実際に音読練習を繰り返し取り組み、身につける。②「します」「否定し～ではない/～(し)ない」の使い方を学ぶ。③韓国文化（旅行編③）について学ぶ。 【事前学習】教科書(P66～73)を参考に目を通しておく。 【事後学習】教科書添付の音声を活用しながら復習する。 (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間
12	第10課 いくらですか	【学習内容】 ①本文の会話内容を理解し、実際に音読練習を繰り返し身につける。 ②「漢数詞」と「この/その/あの」の使い方を学ぶ。 ③韓国文化（メディア編①）について学ぶ。 【事前学習】教科書(P74～83)を参考に目を通しておく。 【事後学習】教科書添付の音声を活用しながら復習する。 (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間
13	第11課 何をよく食べますか	【学習内容】 ①本文の会話内容を理解し、実際に音読の反復練習に取り組み身につける。②動詞や形容詞「です/ます」の形を学ぶ。③韓国文化（メディア編②）について学ぶ。 【事前学習】教科書(P84～91)を参考に目を通しておく。 【事後学習】教科書添付の音声を活用しながら復習する。 (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間
14	第12課 ちょっと待ってください	【学習内容】 ①本文の会話内容を理解し、実際に音読の反復練習に取り組み身につける。②不可能を表す「～できません」の形を学ぶ。③韓国文化（メディア編③）について学ぶ。 【事前学習】教科書(P92～99)を参考に目を通しておく。 【事後学習】教科書添付の音声を活用しながら復習する。 (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間
15	総復習	【学習内容】 ①主に第7課から用いられた基本的な文法について再確認し、まとめ内容を深く理解する。②試験内容を確認する。 ③韓国文化（社会編）について学ぶ。 【事前学習】教科書(P50～99)を参考に目を通しておく。 【事後学習】来週の試験に備えて復習しておく。 (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間
16	定期試験	

科目名	担当代表教員	学年	期別	形態	必選	単位数
外国語（日本語）	平嶋 一臣	1	前期	演習	選択	2
	担当形態	単独		ナンバリング	CE1108	
	担当教員	平嶋 一臣				
【キーワード】	【概要】					
1 言葉	日本語の「話し言葉」と「書き言葉」を明確に区別し、文法的に正しく美しい日本語の習得を目的とする。また、日本語作文における、文型・句読点・段落等の構成について理解し、文章作成の基礎・基本を学ぶ。					
2 読む						
3 書く						
4 聴く						
5 話す						
【到達目標】						
1. 日本語の基本的な用語を使い、自分の伝えたいことを文章化することができる。						
2. 「読む」「書く」「聴く」「話す」の基本を総合的に向上させ、正しい日本語で基本的な文章を書くことができる。						
3. 文章作成の基本を踏まえ、1200字程度の論説文を書くことができる。						
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】						関連性
【知識・理解・技能】						
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。						
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。						
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。						
【思考・判断・表現】						
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。						○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。						
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。						
【関心・意欲・態度】						
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。						
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。						
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。						
【成績評価の方法】						
成績指標	定期試験	毎回の課題提出と内容	受講態度	合計		
評価割合 (%)	40	30	30	100		
【成績評価の基準】						
評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	
評語	S	A	B	C	E	F
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0	0
【課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法】						
毎時間課題レポートを提出する。次週の初めに添削した課題を返却し、その反省点に立ち本時のスタートとする。						
【教科書】						
『留学生の為の論理的な文章の書き方』 二通信子・佐藤不二子 平嶋 一臣 著・編『講義資料』より 必要に応じてプリント・配布する。						
【参考書・参考資料等】						
授業中に指示する						
【関連科目】						
「文章表現法」						

【受講心得】		
疑問点は直ちにその場で質問し解決できるように努めること。また、積極的に授業に参加し、課題等の提出期限を守ること。		
【備考】		
【学習項目】	担当	学習内容、事前・〈事後学習〉（学習時間）
1	ひらがなの成り立ち、文章の中での使われ方を知る	<p><学習内容>ひらがな・カタカナの成り立ちを、漢字との関係から学び、文章の中での使い方の幅を広げる。</p> <p><事前学習>シラバスや授業に必要な参考図書に目を通し、準備も入れて1時間は授業と関連のある領域の参考書を読んでおくこと。</p> <p><事後学習>授業全般の復習を行い、理解できなかった箇所を質問する準備を行うこと。</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
2	日本語の特質①	<p><学習内容>主語と述語を中心に文章の様々な組み立て方を学び、実際に身近な出来事をテーマに文章化する。</p> <p><事前学習>授業に必要な参考図書に目を通し、準備も入れて1時間は授業と関連のある領域の参考書を読んでおくこと。</p> <p><事後学習>授業全般の復習を行い、理解できなかった箇所を質問する準備を行うこと。</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
3	日本語の特質②	<p><学習内容>形容詞・形容動詞・助動詞・助詞の使われ方を、様々な文例集から学び、最近の出来事をテーマに文章化する。</p> <p><事前学習>授業に必要な参考図書に目を通し、準備も入れて1時間は授業と関連のある領域の参考書を読んでおくこと。</p> <p><事後学習>授業全般の復習を行い、理解できなかった箇所を質問する準備を行うこと。</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
4	日本文化と言語や文章の成り立ち①	<p><学習内容>日本独自の言語表現である和語（大和言葉）の様々な使われ方を知る。</p> <p><事前学習>授業に必要な参考図書に目を通し、準備も入れて1時間は授業と関連のある領域の参考書を読んでおくこと。</p> <p><事後学習>授業全般の復習を行い、理解できなかった箇所を質問する準備を行うこと。</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
5	日本文化と言語や文章の成り立ち②	<p><学習内容、実際の生活を想定し、和語（大和言葉）の正しい使い方を学ぶ。</p> <p><事前学習>授業に必要な参考図書に目を通し、準備も入れて1時間は授業と関連のある領域の参考書を読んでおくこと。</p> <p><事後学習>授業全般の復習を行い、理解できなかった箇所を質問する準備を行うこと。</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
6	新聞のコラムを読む①原稿を書く際の約束	<p><学習内容>子ども新聞のコラムを教材に、日本語の組立て方や原稿を書く際の注意点を学ぶ。</p> <p><事前学習>授業に必要な参考図書に目を通し、準備も入れて1時間は授業と関連のある領域の参考書を読んでおくこと。</p> <p><事後学習>授業全般の復習を行い、理解できなかった箇所を質問する準備を行うこと。</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
7	新聞のコラムを読む②組み立て方	<p><学習内容>子ども新聞のコラムを教材に、日本語の組立て方や分かり易く伝えるための段落について学ぶ。</p> <p><事前学習>授業に必要な参考図書に目を通し、準備も入れて1時間は授業と関連のある領域の参考書を読んでおくこと。</p> <p><事後学習>授業全般の復習を行い、理解できなかった箇所を質問する準備を行うこと。</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>

8	コラムや社説を要約する	<p><学習内容>新聞の社説やコラムを教材に、筆者の伝えたいことや要点をまとめる。</p> <p><事前学習>授業に必要な参考図書に目を通し、準備も入れて1時間は授業と関連のある領域の参考書を読んでおく。</p> <p><事後学習>授業全般の復習を行い、理解できなかった箇所を質問する準備を行うこと。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
9	レポートを書く (事実・参考意見・資料)	<p><学習内容>最近の出来事を取り上げ、自分としての意見を主張する文章を書く。</p> <p><事前学習>授業に必要な参考図書に目を通し、準備も入れて1時間は授業と関連のある領域の参考書を読んでおく。</p> <p><事後学習>授業全般の復習を行い、理解できなかった箇所を質問する準備を行うこと。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
10	レポートを再考する (文型、句読点、段落ほか)	<p><学習内容>前時で書き上げた文章を、グループディスカッションし、分かり易く主張がはっきりした文章に練り上げる。</p> <p><事前学習>授業に必要な参考図書に目を通し、準備も入れて1時間は授業と関連のある領域の参考書を読んでおく。</p> <p><事後学習>授業全般の復習を行い、理解できなかった箇所を質問する準備を行うこと。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
11	話し言葉と書き言葉について①	<p><学習内容>「話し言葉」と「書き言葉」の違いを具体例を基に学び、その使い分けの大切さを知る。</p> <p><事前学習>授業に必要な参考図書に目を通し、準備も入れて1時間は授業と関連のある領域の参考書を読んでおく。</p> <p><事後学習>授業全般の復習を行い、理解できなかった箇所を質問する準備を行うこと。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
12	話し言葉と書き言葉について②	<p><学習内容>これまで自分が書いた文章の中で、「話し言葉」で書いている例を挙げ、これを正しい文章に書き直す。</p> <p><事前学習>授業に必要な参考図書に目を通し、準備も入れて1時間は授業と関連のある領域の参考書を読んでおく。</p> <p><事後学習>授業全般の復習を行い、理解できなかった箇所を質問する準備を行うこと。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
13	コラムや社説に対して自分の考えをまとめる①	<p><学習内容>再度、新聞の社説やコラムを取り上げ、これについての自分の意見をまとめ文章化する。</p> <p><事前学習>授業に必要な参考図書に目を通し、準備も入れて1時間は授業と関連のある領域の参考書を読んでおく。</p> <p><事後学習>授業全般の復習を行い、理解できなかった箇所を質問する準備を行うこと。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
14	コラムや社説に対して自分の考えをまとめる②	<p><学習内容>再度、新聞の社説やコラムを取り上げ、自分の意見をまとめグループ間で発表し批評する。</p> <p><事前学習>授業に必要な参考図書に目を通し、準備も入れて1時間は授業と関連のある領域の参考書を読んでおく。</p> <p><事後学習>授業全般の復習を行い、理解できなかった箇所を質問する準備を行うこと。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
15	これまでの学びについて要点を絞り発表する	<p><学習内容>これまでの学びの集大成として、『日本語を学んで』をテーマに1200字にまとめ発表する。</p> <p><事前学習>授業に必要な参考図書に目を通し、準備も入れて1時間は授業と関連のある領域の参考書を読んでおく。</p> <p><事後学習>授業全般の復習を行い、理解できなかった箇所を質問する準備を行うこと。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
16	試験	15回の学びの成果を客観視するための試験

科目名	担当代表教員	学年	期別	形態	必選	単位数
インターンシップ	谷川 知士	1	通年	実習	選択	2
	担当形態	複数		ナンバリング	CE1109	
	担当教員	谷川 知士、下木 猛史				
【キーワード】	【概要】					
1 職業人	本実習は、自分の専門、将来のキャリアに関連した施設や企業等において、栄養士や保育士または、社員の方からの指導のもと、各施設や企業で実際に就業体験を行うものである。就業体験を通じて職業人・社会人として何が必要かを知り、自分の将来の方向性を明確に意識することを目的とする。受け入れ施設・企業等での就業体験と、学内での事前・事後の学習より構成される。					
2 就業体験						
3 社会人						
4 自己管理						
5 責任感						
【到達目標】						
1. 将来の職業について関心を持ち、働くことの意味とイメージを持つことができる。						
2. 自己管理の重要性を理解し、社会人としてのマナーや責任感を身につけることができる。						
3. 仕事を円滑に進めるために必要なコミュニケーション能力を身につけることができる。						
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】						関連性
【知識・理解・技能】						
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。						
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。						
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。						
【思考・判断・表現】						
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。						
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。						○
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。						○
【関心・意欲・態度】						
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。						○
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。						
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。						
【成績評価の方法】						
成績指標	実習施設からの評価	取り組み姿勢	研修日誌等の提出物	合計		
評価割合 (%)	50	25	25	100		
【成績評価の基準】						
評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	
評語	S	A	B	C	E	F
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0	0
【評価内容】 (ルーブリック)						
評価項目	4	3	2	1		
コミュニケーション	社会人としてのコミュニケーション能力が身につく。	場面によってはコミュニケーション能力を発揮することができる。	コミュニケーションを図ろうとする姿が見られる。	コミュニケーションの必要性が理解できる。		
責任感	社会人としての責任感が身につく。	社会人としての責任感が感じ取れる。	社会人としての責任感について理解できる。	責任感のある行動について理解できる。		
判断力	臨機応変で的確な判断力が見につく。	出来事によっては、的確な判断ができるようになる。	判断力の必要性について理解できる。	周りに頼ることができる。		

【課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法】		
提出物等は、内容に不備がある場合は添削し、返却後に再提出させる。		
【教科書】		
特に指定しない。適宜資料を配布する。		
【参考書・参考資料等】		
適宜紹介する。		
【関連科目】		
「ビジネスマナー」		
【受講心得】		
明確な目的と高い意欲を持っていること。「就業」の実習であることを理解し責任を持って行動する。		
【備考】		
インターンシップは、「純真レストラン」及び「こどもの園純真」など関係施設での就業体験を含む。		
【学習項目】	担当	学習内容、事前・事後学習（学習時間）
1 オリエンテーション	全員	<学習内容> インターンシップは、各企業および施設において、専門職としての「就業体験」の実習を行うために各研修プログラムが計画されている。学内では、事前に企業研究や研修中から研修終了後の一連の流れが理解できる。 <事前学習> 施設の概要および実習内容等の基礎的知識を予習しておくこと。 <事後学習> 実習に向けての内容の復習しておくこと。 （事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間
2 事前指導①		
3 事前指導①		
4 実習（インターンシップ）	全員	<学習内容>各企業および施設において、専門職としての「就業体験」の実習を行う。 質の高い知識や技術・技能とともに、社会人としての基本など各研修プログラムの実施。 <事前学習> 実習施設において実習内容の予習をしておくこと。 <事後学習>実習内容の復習をしておくこと。 （事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間
5 ・企業・施設の概要および特質		
6 ・社会人としての基本的業務		
7 マナー・コミュニケーション能力		
8 ・専門業務		
9 専門的知識		
10 専門的技術・技能		
11 ・その他		
12 *就業体験は、各企業・施設の研修プログラムに沿って行う。		
13 *実習時間は1週間		
14 事後指導	全員	<学習内容>「就業体験」の事後指導及び報告会を実施する。 <事前学習>就業体験のまとめをしておくこと。 <事後学習>学んだことの復習をしておくこと。 （事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間
15 実習報告会		

科目名	担当代表教員	学年	期別	形態	必選	単位数
純真ゼミナールⅠ	都築 廣久	1	前期	演習	必修	1
	担当形態	複数	ナンバリング		CE1111	
	担当教員	食物栄養学科教員全員、こども学科教員全員、外部講師				
【キーワード】	【概要】					
1 学園訓	<p>本学は、時代の要望に即応し、高い知性と豊かな情操をもって、社会、家庭に歓迎され、敬愛される良識ある人材を育成する事を目的として設立された。この設立趣旨を理解するためには、建学の精神の中身をお互いに共有することが重要である。そこで本演習では、本学がかかげる「気品」、「知性」、「奉仕」の建学の精神を具現化していくための諸テーマを中心にして、全人格形成の涵養を図ることを目標とする。</p>					
2 建学の精神						
3 気品						
4 知性						
5 奉仕						
【到達目標】						
1. テーブルマナーにより「気品」を醸成させていくことができる。 2. 有識者の講演の聴講などにより「知性」を練磨させていくことができる。 3. 学士基礎力講座により「知性」を練磨させていくことができる。						
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】						関連性
【知識・理解・技能】						
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。						
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。						
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。						
【思考・判断・表現】						
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。						○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。						
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。						
【関心・意欲・態度】						
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。						
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。						
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。						
【成績評価の方法】						
成績指標	課題・提出物		取り組み姿勢及び受講態度			合計
評価割合 (%)	80		20			100
【成績評価の基準】						
評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	
評語	S	A	B	C	E	F
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0	0
【課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法】						
取り組み姿勢と課題・提出物に関するコメントを返却する。						
【教科書】						
特に指定しない。適宜資料を配付する。						
【参考書・参考資料等】						
特に指定しない。						
【関連科目】						
「純真ゼミナールⅡ」						
【受講心得】						
主に班単位で受講するため、お互いに協力して、自ら積極的に活動に取り組むこと。成績評価の一環として合計3回のレポートの提出を課します。						

【備考】		
卒業必修		
【学習項目】	担当	学習内容、事前・事後学習（学習時間）
1 学長講話 ～学園訓・建学の精神について～	都築	<p><学習内容>本学園の学園訓、建学の精神である「気品」「知性」「奉仕」を紹介するとともに、学園を設立した福田昌子女史の想いについても触れる。</p> <p><事前学習>本学園の学園訓について調べておくこと。</p> <p><事後学習>学長講話の内容をレポートにをまとめて提出すること。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 1 時間</p>
2 学園歌について	都築 豊辻 中村	<p><学習内容>純真学園・学園歌について、説明の後、実際に歌唱練習を行う。</p> <p><事前学習>学生便覧掲載の学園歌の歌詞を確認し、発声練習をしておくこと。</p> <p><事後学習>学園歌について、歌詞やメロディの復習をしておくこと。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
3 キャリアガイダンス (1) ～外部講師講話～	津村・ 就職係	<p><学習内容>キャリアガイダンスの第一回目であるため、就職活動の基本である「就職活動支援」と「労働法」を中心に説明する。</p> <p><事前学習>就職ガイドブックに目を通しておくこと。</p> <p><事後学習>就職活動の基本に関する概要を復習しておくこと。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
4 学士基礎力講座 (1) ～一般常識～	都築	<p><学習内容>短大生に必要な時事問題も含めた一般常識問題に取り組む。</p> <p><事前学習>一般常識について調べておくこと。</p> <p><事後学習>当日取り組んだ問題を復習しておくこと。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
5 学士基礎力講座 (2) ～一般常識～	都築	<p><学習内容>短大生に必要な時事問題も含めた一般常識問題に取り組む。</p> <p><事前学習>一般常識について調べておくこと。</p> <p><事後学習>当日取り組んだ問題を復習しておくこと。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
6 博多座歌舞伎観劇事前講座	外部 講師	<p><学習内容>日本の演劇で、伝統芸能のひとつである歌舞伎について、事前に観劇マナーや演目の内容について学ぶ。</p> <p><事前学習>「歌舞伎」について調べておくこと。</p> <p><事後学習>観劇に向けて、事前講座の振り返りを行うこと。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
7 博多座歌舞伎観劇	外部 講師	<p><学習内容>博多座で実際に歌舞伎の観劇</p> <p><事前学習>事前講座の内容を再度復習しておくこと。</p> <p><事後学習>歌舞伎観劇の内容をレポートにをまとめて提出すること。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>

8	奉仕活動 ～清掃活動～	全教員	<p><学習内容>奉仕活動の一環として、西鉄大橋駅東口周辺を中心とした清掃活動を行う。</p> <p><事前学習>社会奉仕、勤労奉仕、無償奉仕、奉仕作業、ボランティアに関して調べておくこと。</p> <p><事後学習>奉仕活動（清掃活動）の意義を振り返ること。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
9	アーティスティック 絵画レッスン	保坂	<p><学習内容>講師の美術活動よりお勧めのオリジナル絵画技法を体験する。創造の世界を楽しみながら拡張、個々の豊かな活動につなげる。</p> <p><事前学習>様々な分野のアートに触れておく。</p> <p><事後学習>受講したことを個々の活動にどう反映できるか考えてみる。</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
10	ジェンダー（1）ジェンダー概念の変遷	石橋	<p><学習内容>女性の権利を拡張しようとするフェミニズム運動から、「ジェンダー」という言葉が「社会的、文化的な性」を表す言葉として使用され、今日にいたっています。この「ジェンダー」概念がどのようにして展開され、今日にいたっているかを概説します。</p> <p><事前学習>「ジェンダー」という言葉を調べ、「ジェンダー」について考えてくる。</p> <p><事後学習>授業で配付した資料を参考にジェンダーについて考える。</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
11	ジェンダー（2）お姫様とジェンダー	石橋	<p><学習内容>お姫様（白雪姫、シンデレラ、眠り姫など）で描かれる女性たちは王子様との出会いによってハッピーエンドを迎えます。このような女性像に対してそれは文化的社会的につくられた見方だ（ジェンダー）という批判もあります。このジェンダー観について考えてみましょう。</p> <p><事前学習>白雪姫、シンデレラ、眠り姫の物語を読んで、そこで描かれる女性像について考えてくる。</p> <p><事後学習>授業で配付した資料を参考にジェンダーについて考える。</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
12	テーブルマナー～和食～	下村	<p><学習内容>お箸の正しい使い方や器の取り方、各種料理のいただき方などを説明する。</p> <p><事前学習>食事の際に必要なマナーについて考えておくこと。</p> <p><事後学習>学んだ作法を食事の際に活用しながら、基本的なマナーを身につけること。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
13	テーブルマナー～洋食～	宅間	<p><学習内容>テーブルマナーとは何か、予約の仕方、服装、メニューの構成をはじめナフキン・カトラリーの扱い方をコース料理に沿って解説する。</p> <p><事前学習>授業の前に洋食のテーブルマナーについて調べておくこと。</p> <p><事後学習>日常の食事をおしてマナーが身につけられているか確認をすること。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 1 時間</p>
14	護身術	左藤	<p><学習内容>護身術の心構え、身体運動の基本と重要性を学ぶ。身の回りで起こっている危険を覚識し、それを回避、防御、撃退する手段とその結果に対する法的意義と適用について学ぶ。</p> <p><事前学習>ストレッチ、筋力トレーニング、ウォーキング、ジョギング等の身体運動に関する書籍、雑誌、インターネット情報などに目を通しておく。</p> <p><事後学習>学んだ身体運動や基礎トレーニングを普段の生活の中で実行する。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
15	「学園訓」を表現しよう（1）	平嶋	<p><学習内容>学園訓「気品」「知性」「奉仕」に込められた思いを書表現する。</p> <p><事前学習>学園訓三語に込められた意味を自分なりに解釈説明できる。</p> <p><事後学習>自分の作品と友人の作品を比べ批評できる。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>

科目名		担当代表教員		学年	期別	形態	必選	単位数
体育実技		本多 辰之		1	前期	実技	選択	1
		担当形態	複数	ナンバリング		CE1113		
		担当教員	本多 辰之、山本 龍介					
【キーワード】		【概要】						
1	教養科目	大学で行う体育とは、人として生涯健康に生きるための教養を身に付けることにある。従い運動が健康に与える影響について身を持って体験し、健康を維持していくための運動学習の中で、将来のライフステージに応用できる知識・技能・態度を身に付ける。さらに、運動活動は高校までの体育で培った技能や経験により、多様性が表れやすいが、本授業は今までの技能のみには頼らない、多様性を認め、活かすチームワークづくりを目指すスポーツ・運動を行う。 ※理解度や進捗度、施設の状況などにより、授業内容を変更することもある。						
2	運動							
3	健康							
4	体力							
5	チームづくり							
【到達目標】		1. 運動を通じて、自らの健康を維持・改善していくための資質や能力を養うことができる。 2. 多様性を認め、活かしていくチームが作れる。 3. 日常生活に運動を取り入れる習慣を身に付けることができる。						
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】								関連性
【知識・理解・技能】								
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。								
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。								
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。								
【思考・判断・表現】								
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。								○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。								
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。								
【関心・意欲・態度】								
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。								
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。								
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。								
【成績評価の方法】								
成績指標	受講態度			実技・課題・提出物			合計	
評価割合 (%)	30			70			100	
【成績評価の基準】								
評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下			
評語	S	A	B	C	E	F		
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0	0		
【評価内容】 (ルーブリック) *各評価項目は、配分が異なる。								
評価項目	4	3	2	1				
健康への意識	授業を理解し、生活に汎用できている	授業を理解できそれを生活全体に活かそうと心がけている	授業の主旨を理解し、授業に参加している	授業に参加した				
他者との連携	多様性を理解し、その中でもリーダーシップを発揮でき、よりよく活動を進める	多様性を理解し、他者への役割を理解した態度で取り組める	他者への配慮ができる	チーム活動に参加した				
自己形成	自己の能力を向上させるために様々な方法を試し、それが発揮させられる	自己の能力を向上するための様々な方法を工夫している	自己の能力を向上させるために活動に取り組んでいる	活動に取り組んでいる				
レポート	与えられた課題内容を多面的にとらえることができる	与えられた課題内容が的確に答られている	必要な課題を記入している	課題を提出した				

【課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法】 課題については返却時にコメントを付ける。		
【教科書】 資料配布		
【参考書・参考資料等】 随時紹介		
【関連科目】 「体育理論」		
【受講心得】 積極的に授業に参加し、学生として然るべき受講態度で臨むこと。 毎回、ジャージ、体育館シューズを着用のこと。		
【備考】 保育士課程必修、幼稚園教諭必修		
【学習項目】	担当	学習内容、事前・事後学習（学習時間）
1 オリエンテーション（アイスブレイク）	本多 山本	【学習内容】本授業の流れを説明後、アイスブレイクを行ない、心と体をほぐす 【事前学習】シラバスを確認しておく 【事後学習】学習内容を振り返る (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間
2 体力測定	本多 山本	【学習内容】体力測定（握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び）を行う 【事前学習】全国平均値を確認しておく 【事後学習】学習内容を振り返る (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間
3 体力測定	本多 山本	【学習内容】体力測定（シャトルラン・立ち幅跳び）を行う。自ら評価をし、体力を把握する。 【事前学習】全国平均値を確認しておく 【事後学習】学習内容を振り返る (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間
4 適切な運動実践	本多	【学習内容】自身の運動能力に応じた運動の実践方法を学ぶ 【事前学習】体力測定を振り返る。 【事後学習】学習内容を振り返る (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間
5 体づくり運動	本多	【学習内容】体ほぐし運動の中から、体の調子を整えたり、仲間と交流を図ったり、体の気づきを促したりするような運動について解説・実践する。 【事前学習】体ほぐしについて調べておく 【事後学習】学習内容を振り返る (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間
6 ニュースポーツ	本多	【学習内容】身体機能の充実を図る運動の中から、筋力・思考力・瞬発力等を高めたりするような運動について取り上げ、解説・実践する 【事前学習】ルールを確認しておく 【事後学習】学習内容を振り返る (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間

7	ニュースポーツ	本多	<p>【学習内容】 走・跳の運動の中からタグラグビーを取り上げ、学習のねらい、学習内容、指導法について解説・実践する。</p> <p>【事前学習】 ルールを確認しておく</p> <p>【事後学習】 学習内容を振り返る</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
8	表現運動	本多	<p>【学習内容】 表現運動の中から、イメージに触発されて製作される運動を取り上げ、学習のねらい、学習内容、指導法について解説・実践する。</p> <p>【事前学習】 ルールを確認しておく【事後学習】 学習内容を振り返る</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
9	表現運動②	本多	<p>【学習内容】 リズム運動の中から、音楽に触発されて製作される運動や型が決まった踊りを取り上げ、学習のねらい、学習内容、指導法について解説・実践する。</p> <p>【事前学習】 リズム運動を調べておく</p> <p>【事後学習】 学習内容を振り返る</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
10	準備運動とストレッチング アイスブレイク	山本	<p>【学習内容】 身体だけでなく心もほぐせるように、ストレッチやアイスブレイクを実践する</p> <p>【事前学習】 ストレッチやアイスブレイクの必要性について調べてまとめる</p> <p>【事後学習】 学習内容を振り返る</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
11	音楽を使った運動	山本	<p>【学習内容】 音楽を使いながら体を動かすことで、効率よく楽しく運動できることを実践の中で理解する。</p> <p>【事前学習】 自身の運動能力にあったダンスやリズム体操を調べておく</p> <p>【事後学習】 学習内容を振り返る</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
12	道具をつかわない運動	山本	<p>【学習内容】 道具を必要としない運動やあそびの中から遊びの原点でもある鬼あそびを取り上げ、実践を通して体を動かす本来の意味について理解する</p> <p>【事前学習】 様々な鬼あそびについて調べておく</p> <p>【事後学習】 学習内容を振り返る</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
13	縄・フープを用いた運動	山本	<p>【学習内容】 縄やフープの特性を理解し、なかまと一緒に体を動かす楽しさを実践の中で感じる</p> <p>【事前学習】 縄やフープの特性の調べ、それに伴う運動やストレッチ方法について調べておく</p> <p>【事後学習】 学習内容を振り返る</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
14	ボールを用いた運動	山本	<p>【学習内容】 ボールをつかった運動がもたらす、身体への効能など、実践を通して解説する</p> <p>【事前学習】 ボールを使った運動やストレッチについて調べておく</p> <p>【事後学習】 学習内容を振り返る</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
15	身近な道具を使った運動	山本	<p>【学習内容】 身近な素材であるタオルを使ったストレッチ法等、いつでもどこでも気軽に運動できるように解説、実践する</p> <p>【事前学習】 タオルを使った運動やストレッチについて調べておく</p> <p>【事後学習】 学習内容を振り返る</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>

科目名	担当代表教員	学年	期別	形態	必選	単位数
倫理学	石橋 孝明	1	後期	講義	選択	2
	担当形態	単独		ナンバリング	CE1101	
	担当教員	石橋 孝明				
【キーワード】	【概要】					
1 生命倫理	人間だけが自覚的に生き、そして死んでいく。では、わたしたちは、どのように生き、死んでいこうとするのか。よく生き、よく死ぬことを目指すのではないだろうか。本講義では、このよく生き、よく死ぬことを、具体的な場面を設定することで考察し、生命の問題を倫理的視点のもとに考えていく。そして、このことを通して、倫理学の諸問題について考える。具体的事例としては、1970年代以降アメリカを中心に形成された「生命倫理学」の諸問題などを挙げて講義する。また、保育士・幼稚園教諭として働くことの意味・意義についても考察する。					
2 生						
3 死						
4 働くこと						
5 考える力						
【到達目標】						
1. 生命倫理に関する基礎的な知識を習得し、自分の言葉で説明できる。						
2. 働くことについて基礎的な知識を習得し、自分の言葉で説明できる。						
3. 現代社会の諸問題について、多様な広い視野から思考し、それを自分の言葉で説明できる。						
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】						関連性
【知識・理解・技能】						
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。						
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。						
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。						
【思考・判断・表現】						
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。						○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。						
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。						
【関心・意欲・態度】						
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。						
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。						
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。						
【成績評価の方法】						
成績指標	定期試験		課題への取組			合計
	60		40			100
【成績評価の基準】						
評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	
評語	S	A	B	C	E	F
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0	0
【課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法】						
課題提出の次の授業で提出された内容についてコメントする。試験結果に関しては、試験後、面談に応じる。希望者は申し出ること。						
【教科書】						
なし						

【参考書・参考資料等】
『よく生き、よく死ぬための、生命倫理学』 篠原・石橋 編 ナカニシヤ出版
『考えよう！生と死のこと—基礎から学ぶ生命倫理と死生学—』 波多江・寺田・脇 編 木星舎
『FACTFULNESS』 ハンス・ロスリング他 著 日経BP社
その他は講義中に指示する。

【関連科目】

【受講心得】
ノート講義（パワーポイント使用）、筆記用具を持参し、受講中は私語・携帯電話操作等をせず、授業に集中すること。 学生との相談・授業の進行状況により授業計画の一部変更もありうる。

【備考】

【学習項目】	担当	学習内容、事前・事後学習（学習時間）
1	オリエンテーション 倫理学とは何か・授業の進め方・取り扱うテーマの説明	<学習内容>資料を配布しパワーポイントで倫理学とは何か、そしてどのようなテーマについて授業をしていくのか等について説明する <事前学習>シラバスを見て授業内容がどのようなものになるのか考えてくる <事後学習>授業中に配布した資料を見直して本日の授業を振り返る (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間
2	生命倫理（1）人工授精と体外受精、出生前診断と着床前診断	<学習内容>生命の誕生に関する医療倫理における諸問題を考える <事前学習>人工授精と体外受精、出生前診断と着床前診断について自分なりに下調べしてくる <事後学習>授業中に配布した資料を見直して本日の授業を振り返る (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間
3	生命倫理（2）技術革新の先に見えてくるもの	<学習内容>医療倫理を例にとり、技術革新と倫理の問題を考える <事前学習>技術革新でどんな問題が生じてくるのか、そのプラス面とマイナス面を自分なりに下調べしてくる <事後学習>授業中に配布した資料を見直して本日の授業を振り返る (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間
4	生命倫理（3）救世主きょうだい「私の中のあなた」（ビデオ鑑賞）	<学習内容>姉を助けるためにデザイナーベビーとして生まれた妹の反乱をめぐる家族の葛藤について、ビデオを観ることで生きること死ぬことについて考える <事前学習>これまでの時間に扱ったデザイナーベビーのことを振り返り、自分の身に置き換えて考えてくる <事後学習>ビデオの内容を自分なりにまとめてくる (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間
5	生命倫理（4）救世主きょうだい「私の中のあなた」について討議	<学習内容>ビデオを観てまとめてきたことを発表しあい、共通の注目点について議論を深めていく <事前学習>自分でまとめた内容について要点を発表できるようにしてくる <事後学習>様々な意見を比較検討し、考えを深める (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間
6	生命倫理（5）性同一性障害	<学習内容>性同一性障害について考える、そしてLGBTQの権利主張についても考える <事前学習>性同一性障害、LGBTQについて自分なりに下調べしてくる <事後学習>授業中に配布した資料を見直して本日の授業を振り返る (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間

7	生命倫理（6）脳死と臓器移植	<p><学習内容>脳死と臓器移植に関わる諸問題について考える</p> <p><事前学習>脳死と臓器移植について自分なりに下調べをしてくる</p> <p><事後学習>授業中に配布した資料を見直して本日の授業を振り返る</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
8	生命倫理（7）延命治療、尊厳死、安楽死	<p><学習内容>延命治療、尊厳死、安楽死に関わる諸問題について考察する</p> <p><事前学習>延命治療、尊厳死、安楽死について自分なりに下調べしてくる</p> <p><事後学習>授業中に配布した資料を見直して本日の授業を振り返る</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
9	生命倫理（8）寿命を延ばすことと人生の意義	<p><学習内容>寿命が延びること、さらには不死が実現すると、どのようなことが生じるかを考え、生と死について考察する</p> <p><事前学習>死なないとすればどういうことが考えられるか自分なりに下調べしてくる</p> <p><事後学習>授業中に配布した資料を見直して本日の授業を振り返る</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
10	生命倫理（9）ブタがいた教室（ビデオ鑑賞）	<p><学習内容>「ブタを飼いそれを食べるという取り組み」のビデオを観ることで、生命について考える</p> <p><事前学習>生き物を育てて食べることについて考えてくる</p> <p><事後学習>ビデオの内容を自分なりにまとめてくる</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
11	生命倫理（10）ブタがいた教室について討議	<p><学習内容>ビデオを観てまとめてきたことを発表しあい、共通の注目点について議論を深めていく</p> <p><事前学習>自分でまとめた内容について要点を発表できるようにしてくる</p> <p><事後学習>様々な意見を比較検討し、考えを深める</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
12	働くことについて考える（1）働くことの意味	<p><学習内容>私たちはなぜ働くのかを考える。働くことは自分にとってどんな意味があるのか、そして働くことは対他関係の中でどんな意味をもつのかを考える</p> <p><事前学習>私たちはなぜ働くのか自分なりに考えてくる</p> <p><事後学習>授業中に配布した資料を見直して本日の授業を振り返る</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
13	働くことについて考える（2）保育士・幼稚園教諭として働くこと	<p><学習内容>保育士・幼稚園教諭として働くことを、前回の授業を踏まえて、様々な観点から考える</p> <p><事前学習>自らが就こうとしている仕事の、自分にとっての意味、社会の中での意味を考えてくる</p> <p><事後学習>授業中に配布した資料を見直して本日の授業を振り返る</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
14	世界の見方『ファクトフルネス』	<p><学習内容>『ファクトフルネス』に即して世界の見方を学ぶ</p> <p><事前学習>『ファクトフルネス』について下調べしてくる</p> <p><事後学習>授業中に配布した資料を見直して本日の授業を振り返る</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
15	講義の振り返り	<p><学習内容>これまでの講義のポイントを振り返り、その中でとりわけ関心の持ったテーマについて各自論述する。</p> <p><事前学習>配布した資料を見返して、これまでの授業でどんなことを考えたか振り返ってくる</p> <p><事後学習>授業中に論じた内容を推敲する</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
16	試験	

科目名	担当代表教員	学年	期別	形態	必選	単位数
感性学	平嶋 一臣	1	後期	講義	選択	2
	担当形態	単独		ナンバリング	CE1102	
	担当教員	平嶋 一臣				
【キーワード】	【概要】					
1 感性	21世紀は「感性」の時代と言われる。では、なぜ今、このことが重要視されるに至ったのだろうか。そこには、昨今みられる「人間関係の希薄化」「自然体験の形骸化」による人間本来の「自由闊達な発想」力の低下や「人権感覚の欠如」が人間社会の閉塞感をもたらし、その結果が危惧され始めた姿が浮かんでくる。「人間性回復」のための現状打破が急務である。この世に生を受けた「ヒト」が、教育を受けやがて「人」となり、さらに成長し「人間」へと成長していく過程で、最も大切な学びは、人間的な感性の享受に基づいた自己変革である。そのためにも、「感性」「感性教育」の解釈や学びは、曖昧なままでは済まされない。ここでは、「感性」の意義、「感性教育」の方法について、できる限り自らの五感で確かめつつ具体的な場面を想定し学ぶという体験型の授業に努める。					
2 感性教育						
3 気づき						
4 五感						
5 感覚協働（法）						
【到達目標】	1. 「感性」は、人間にとっての思考・行動の源泉であることに気づき、さらに新たな自分を創造することができる。 2. 人間関係づくりの基本であり前提となる自己の感性磨きに努めることができる。 3. 「感性学」を学び、日々新たな自己発見を行うと共に、他人・他物との共生について主体的に考えることができる。					
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】						関連性
【知識・理解・技能】						
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。						
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。						○
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。						
【思考・判断・表現】						
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。						○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。						
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。						
【関心・意欲・態度】						
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。						○
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。						
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。						
【成績評価の方法】						
成績指標	定期試験		課題レポート		合計	
評価割合 (%)	70		30		100	
【成績評価の基準】						
評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	
評語	S	A	B	C	E	F
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0	0
【課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法】	毎時、課題レポートの提出がある。これを添削し毎回の授業前に返却する。返された提出レポートでの気づきや修正点を基に復習を行った後、本時の授業をスタートする。					
【教科書】						
【参考書・参考資料等】	平嶋一臣 編・著『講義資料』 感性を考える会編『感性のひらめき』（紅書房）					
【関連科目】	教育方法論・教育原理・教育心理学・幼児教育論					

【受講心得】		
【備考】		
【学習項目】	担当	学習内容、事前・事後学習（学習時間）
1	オリエンテーション・「感性」の時代がやってきた（含・「感性」に関するアンケート）	<p><学習内容>授業中の約束事を連絡した後、15回の授業の概要および事前・事後の学習の仕方について説明する。なお、今後の参考とするために、「感性」についてのアンケートを行う。</p> <p><事前学習>15回分の講義要項（シラバス）に目を通し、質問内容をまとめておく。</p> <p><事後学習>15回の講義要項の概要を再確認しておく。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
2	「感性」についてのさまざまな研究事例を知る（感性を哲学する）	<p><学習内容>教育史における「感性」研究の変遷を知り、今後の「感性学」研究の在り方を、哲学（美学）的視点から捉え、今後の受講に、各自、より明確な方向性を持つ。</p> <p><事前学習>自分の考える「感性」を発表・説明できるよう、あらかじめ400字程度にまとめておく。</p> <p><事後学習>返却された提出レポート中の、添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
3	義務教育期における「感性教育」の実態を知る（感性育ては可能か？）	<p><学習内容>そもそも、「感性」は教育できるものなのか、先天的なものなのか、幼児・児童・生徒の発達段階と教育との関係を、自らの幼・小・中期の体験・経験と重ねて考える。</p> <p><事前学習>あらかじめ、「教育方法」「教育原理」「教育心理学」に関する本を最低1冊は読み込んでおく。持っていない場合は図書館から借りる。</p> <p><事後学習>返却された提出レポート中の、添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
4	幼児期における感性教育の重要性を考える（脳生理学的視点から）	<p><学習内容>「感性」は育つもの・育てられるものであることを前提に、幼児期および脳生理学的な見地から、幼児期における「感性教育」の重要性に気づく。</p> <p><事前学習>脳の構造図を基に、最下層感覚部から上層感覚部までの積み重ねの具体的な位置について調べておく。</p> <p><事後学習>返却された提出レポート中の、添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
5	絵画の世界に潜む作者および自分の感性を知る	<p><学習内容>モジリアーニの絵を題材に、目と耳の感覚を協働させ、作者の絵画表現を批評する。またミロの抽象画から、オリジナルなファンタジック物語の創作も試みる。</p> <p><事前学習>図書館にある日本・世界の名画全集から一巻を選び、新たな「気づき」を報告できるよう準備する。</p> <p><事後学習>返却された提出レポート中の、添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>

6	音楽の世界に潜む作者および自分の感性を知る	<p><学習内容>日本民謡に表われる地域性および日本と西洋の子守唄の成立過程について学び、その根本的な違いに気づくとともに、旋律・リズム・歌詞の関係を考える。 <事前学習>自分の故郷の民謡や、自分の聴いた子守唄について、紹介できるようにまとめておく。 <事後学習>返却された提出レポート中の、添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
7	書(線)・書のリズムに表われる、作者および自分の感性を考える(「書は人なり」について)	<p><学習内容>空海・最澄の往復書簡を題材に、二人の書跡の根本的な違いを学び、その後の交流の断絶という事実との関連性を考えることができる。 <事前学習>これまでの「習字」や「書道」の体験から、自分の「書」に対する印象を400字程度にまとめておく。 <事後学習>返却された提出レポート中の、添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
8	文学の中に表われる感性について学ぶ(小説・散文を中心に)	<p><学習内容>芥川龍之介作『鼻』を通し、若き日の作者が見抜き描き訴えたかった人間の自尊心や弱点を知るとともに、人は如何に生きるべきかについて、自分の考えを持つ。 <事前学習>芥川の短編集を読み、「人間」をキーワードに、その底流に流れる作者の訴えをまとめておく。 <事後学習>返却された提出レポート中の、添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
9	文学の中に表われる感性について学ぶ(短歌・俳句を中心に)	<p><学習内容>世界で最も短い詩と言われる伝統俳句・自由律俳句を読み、そこに潜む日本(人)独特の感性に気づくとともに、批評精神の基本を学ぶ。 <事前学習>芭蕉・蕪村・一茶・子規の俳句および新聞五紙の歌壇から、自分の印象に残った作品をメモしておく。 <事後学習>返却された提出レポート中の、添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
10	日本の伝統芸能(能)に表われる独特の感性について学ぶ	<p><学習内容>日本の伝統的な芸能である能『隅田川』に見られる、観世元雅独特の発想・脚本・演出と父・世阿弥の演出法との対立から、そこに潜む日本的感性について考える。 <事前学習>日本の伝統文化・伝統芸能について、そのジャンルを説明できるまでになっておく。 <事後学習>返却された提出レポート中の、添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
11	スポーツおよび芸術と感性の豊かさの関連性を考える(感性の諸様相について)	<p><学習内容>勝ちにこだわるスポーツマンの存在について再考し、今後、スポーツの在り方は如何にあるべきか、その原点として、「感性磨き」との関連性を考える。 <事前学習>昨今のスポーツマンの不祥事について、自分はどうか考えるのか、あらかじめ意見をまとめておく。 <事後学習>返却された提出レポート中の、添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>

1 2	人間力・コミュニケーション能力と感性との関係を知る	<p><学習内容>「感性」の豊かさや不足は、現実の世界でどのような結果をもたらすのか、具体的な事例や経験を挙げ、実生活上の人間関係性との接点について考える。</p> <p><事前学習>過去の経験から、「感性」豊かな人の行動と結果、「感性」不足による失敗の事例をまとめておく。</p> <p><事後学習>返却された提出レポート中の、添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
1 3	人権感覚と感性育てとの相関を考える	<p><学習内容>古典落語『あたま山』の背後に潜む人間社会の暗部に気づく。また常の人権感覚維持には、自己についての冷静な振り返りと客観的な分析が求められることを知る。</p> <p><事前学習>過去に学んだ人権学習を想起し、特に印象に残っている授業について、発表できるようまとめておく。</p> <p><事後学習>返却された提出レポート中の、添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
1 4	情報化社会における感性の在り方を考える (主に映像・メディア・マスコミの態様を中心に)	<p><学習内容>インターネットと新聞の情報の基本的な違いに気づき、「感性」不足が実生活においてどのような結果につながるかについて考える。</p> <p><事前学習>ネット情報と新聞のリード記事・本文との比較資料をあらかじめ(図書館などで調べ)準備しておく。</p> <p><事後学習>返却された提出レポート中の、添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
1 5	人間の幸せについて考える(経済的貧国と精神的な豊かさについてブータン国を例に)	<p><学習内容>人間の幸せとは何なのか。幸せの原点を、経済的な豊かさ・精神的な豊かさの相関について考え、ブータン国やその国民性を基に、自分の幸福観・幸福論を持つ。</p> <p><事前学習>GNP・GDP・GNHの意味を再確認し、ブータン国の世界的評価について、多面的な角度から調べておく。</p> <p><事後学習>返却された提出レポート中の、添削部分を再度点検・復習し、修正または新たな意見・質問を持つ。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
1 6	定期試験	<p><学習内容>15回の授業を終え、「感性学」についての基本用語の理解および多分野において自分の考えを持つことができたかについて客観的に知る。</p> <p><事前学習>これまでに渡した15冊の資料集を振り返り、印象に残っている題材や資料を中心に復習しておく。</p> <p><事後学習>『感性学』15回の授業受講を受けて、受講前の自分の変化・成長について振り返る。</p>

科目名		担当代表教員		学年	期別	形態	必選	単位数	
ビジネスマナー (こども学科)		大石 紀子		1	後期	演習	選択	2	
		担当形態	単独	ナンバリング		CE1110			
		担当教員	大石 紀子						
【キーワード】		【概要】							
1	コミュニケーション	1. 社会で必要とされる言葉づかいや立ち居振る舞いをはじめ、ビジネスマナー全般を座学だけでなく多くの演習をとおして習得することで、信頼される社会人となることを目指す。 また円滑な人間関係を築きあげ、仕事をしやすい環境を自らで作り上げることができることを学ぶ。 2. 就職活動に際して必要なマナーも習得する。							
2	言葉づかい								
3	応対								
4	電話応対								
5	文書作成								
【到達目標】									
1. 社会人として求められる心構えとビジネスマナーを理解することができる。 2. 知識として習得したマナーを状況に応じて実践することができる。 3. 他者への配慮を怠らず、良好な人間関係を構築することができる。									
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】								関連性	
【知識・理解・技能】									
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。									
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。									
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。									○
【思考・判断・表現】									
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。									○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。									
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。									
【関心・意欲・態度】									
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。									○
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。									○
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。									
【成績評価の方法】									
成績指標	定期試験			受講態度			合計		
評価割合 (%)	80			20			100		
【成績評価の基準】									
評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下				
評語	S	A	B	C	E		F		
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0		0		
【課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法】									
試験終了後は模範解答をもとに間違えた箇所を見直し、正しいマナーを理解する。									
【教科書】									
『よくわかる 自信がつくビジネスマナー』（改訂3版）著作/制作 富士通エフ・オー・エム株式会社									
【参考書・参考資料等】									
補足資料として適宜プリント配布									
【関連科目】									

【受講心得】		
授業中からマナーを意識し、教室内では社会人であるという心構えで受講して下さい。 講義中には数多くの実技演習があります。マナーは体得することが大切ですから積極的に取り組みましょう。		
【備考】		
【学習項目】	担当	学習内容、事前・事後学習（学習時間）
1	オリエンテーション	<p>【学習内容】 マナーを学ぶ意義について考えます。現段階で社会人基礎力の自己評価を行い、これからの授業における自分自身の課題（学びたいこと）を明確にします。</p> <p>【事前学習】テキストP5～P6を読み、マナーの必要性を考える。</p> <p>【事後学習】初回の授業を振り返り、身に付けるべき力は何かを自分の課題として考える。</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
2	身だしなみ・挨拶・立ち居振る舞い	<p>【学習内容】 人に与える第一印象というのはとても重要です。印象の良し悪しがもたらすメリット・デメリットを考えながら、具体的に好感度を与える挨拶や立ち居振る舞いを実践形式で体得します。</p> <p>【事前学習】テキスト第1章P7～P22を読み、身だしなみについて知りたいこと（質問）を考えておく</p> <p>【事後学習】日常生活のなかで実践する</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
3	言葉づかいと敬語の基礎	<p>【学習内容】 バイト敬語や不適切な言葉づかいなど日頃気が付かずにごうっかり使ってしまう不快感を与えてしまう言葉が多くあります。これらの間違った言葉づかいを理解して、適切な言葉づかいができるように学びます。</p> <p>【事前学習】テキストP31～P35を読む</p> <p>【事後学習】日常生活の中で実践する</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
4	敬語の正しい使い方（1）	<p>【学習内容】 敬語にはいくつかの種類があります。相手や状況に合わせて適切な言葉づかいができるように事例を用いながら基本を学びます。</p> <p>【事前学習】テキストP36～P37を読む</p> <p>【事後学習】テキストP41に記入して復習</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
5	敬語の正しい使い方（2）	<p>【学習内容】 基本編で学んだ内容を実際の様々なシーンで活用できるように実践形式で学びます。</p> <p>【事前学習】テキストP42～P44を読む</p> <p>【事後学習】テキストP45を活用して復習（0.2時間）</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.2 時間</p>
6	報告・連絡・相談とアサーション	<p>【学習内容】上司や先輩から受けた指示の受け方や報告・連絡・相談の仕方についても社会人として受答えができるように学習します。</p> <p>【事前学習】テキストP46～P48を読む</p> <p>【事後学習】テキストP51を活用して復習（0.2時間）</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.2 時間</p>

7	電話応対（1）	<p>【学習内容】 社内での電話の取り次ぎ方など応対のポイントを実践を交えて学びます。 【事前学習】テキストP85～P88を読み、実践問題の練習もしておく 【事後学習】テキストP97実践問題を解く</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
8	電話応対（2）	<p>【学習内容】 相手に用件をわかりやすく伝える電話のかけ方を練習します。仕事においては伝言を依頼する場合がありますから、トラブルに繋がらないように正確に伝えるポイントも学びます。 【事前学習】テキストP89～91を読む 【事後学習】テキストP101確認問題を解き復習をする</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
9	就職活動で必要な電話のマナー	<p>【学習内容】 就職活動において企業と電話でやりとりをする機会が多くなります。大切な事項を聞き逃さず、また自分の伝えたいことも失礼のない言葉づかいで話せるように事例を使いながら学びます。 【事前学習】就職活動における電話マナーについて質問したいことを考えておく 【事後学習】自分用の就活電話スクリプトを作る</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
10	訪問のマナー	<p>【学習内容】 相手の会社への訪問時や来客時に必要なマナーを説明します。事前の準備や当日の心構え、応接室でのマナーなどを学びます。 【事前学習】テキストP61～P82を読んでおく 【事後学習】テキストP83確認問題を解く</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
11	はがきの書き方	<p>【学習内容】 日々の業務の中では文書を作成することが多々あります。文書作成の基本をはがきの作成をとおして学びます。 【事前学習】事前に配布される補足資料を読んでおく 【事後学習】授業内で作成するはがきの完成</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
12	ビジネス文書	<p>【学習内容】 前回の授業（はがき）で学んだことを基本に社内外で必要とされる文書作成を学び、実際に作成します。基本的な形式や表現を身に付けます。 【事前学習】テキストP148～P154を読んでおく 【事後学習】文書の完成</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>
13	メールの知識と書き方	<p>【学習内容】 メールは便利ですが小さなミス一つで周囲に多大な迷惑をかけてしまうこともあり、注意が必要です。ここでは書き方のポイントや基本的なマナーを学びます。 【事前学習】テキストP110～P112を読む 【事後学習】テキストP121を解いて復習する</p> <p>（事前学習） 0.5 時間 （事後学習） 0.5 時間</p>

1 4	就職活動に必要なメールの書き方	<p>【学習内容】 就職活動中に相手企業とメールのやりとりをする時の注意を説明し、具体的に作成します。</p> <p>【事前学習】短大で配布される資料の該当ページに目を通しておく</p> <p>【事後学習】実際に使えるように下書きを作る</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
1 5	面接のマナーと面接礼状	<p>【学習内容】 就職面接においてもマナーや印象は大切です。相手に好印象を与えるポイントを学び、また面接の礼状についても作成し活用実践で活用できるようにします。</p> <p>【事前学習】短大で配布される資料の該当ページに目を通しておく</p> <p>【事後学習】面接礼状を完成させる</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
1 6	試験	<p>これまでの総括。学んだ内容がどのくらい習得できているかをテストする。</p>

科目名	担当代表教員	学年	期別	形態	必選	単位数
純真ゼミナールⅡ	都築 廣久	1	後期	演習	必修	1
	担当形態	複数		ナンバリング	CE1112	
	担当教員	食物栄養学科教員全員、こども学科教員全員、外部講師				
【キーワード】	【概要】					
1 学園訓	<p>本学は、時代の要望に即応し、高い知性と豊かな情操をもって、社会、家庭に歓迎され、敬愛される良識ある人材を育成する事を目的として設立された。この設立趣旨を理解するためには、建学の精神の中身をお互いに共有することが重要である。そこで本演習では、本学がかかげる「気品」、「知性」、「奉仕」の建学の精神を具現化していくための諸テーマを中心にして、全人格形成の涵養を図ることを目標とする。</p>					
2 建学の精神						
3 気品						
4 知性						
5 奉仕						
【到達目標】	<p>1. 茶道・着付により「気品」を醸成させていくことができる。 2. 有識者の講演の聴講などにより「知性」を練磨させていくことができる。 3. ボランティアの清掃活動への参加により「奉仕」の精神を高揚させていくことができる。</p>					
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】						関連性
【知識・理解・技能】						
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。						
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。						
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。						
【思考・判断・表現】						
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。						○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。						
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。						
【関心・意欲・態度】						
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。						
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。						
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。						
【成績評価の方法】						
成績指標	課題・提出物		取り組み姿勢及び受講態度		合計	
評価割合 (%)	80		20		100	
【成績評価の基準】						
評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	
評語	S	A	B	C	E	F
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0	0
【課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法】						
取り組み姿勢と課題・提出物に関するコメントを返却する。						
【教科書】						
特に指定しない。適宜資料を配付する。						
【参考書・参考資料等】						
特に指定しない。						
【関連科目】						
「純真ゼミナールⅠ」「ビジネスマナー」						

【受講心得】		
主に班単位で受講するため、お互いに協力して、自ら積極的に活動に取り組むこと。成績評価の一環として合計3回のレポートの提出を課します。		
【備考】		
卒業必修		
【学習項目】	担当	学習内容、事前・事後学習（学習時間）
1	津村・外部講師	<p><学習内容>「自己分析を進める上のポイントについて」と題する外部講師による講和を聴く。 <事前学習>就職ガイドブックに目を通しておくこと。 <事後学習>自己分析の振り返りを行うこと。</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
2	津村・外部講師	<p><学習内容>「就職活動開始に向けた心構え」と題する外部講師による講和を聴く。 <事前学習>就職ガイドブックに目を通しておくこと。 <事後学習>講演から学んだことを復習しておくこと。</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
3	都築	<p><学習内容>短大生に必要な時事問題も含めた一般常識問題に取り組む。 <事前学習>一般常識について調べておくこと。 <事後学習>当日取り組んだ問題を復習しておくこと。</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
4	都築	<p><学習内容>短大生に必要な時事問題も含めた一般常識問題に取り組む。 <事前学習>一般常識について調べておくこと。 <事後学習>当日取り組んだ問題を復習しておくこと。</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
5	外部講師	<p><学習内容>講演内容については調整中 <事前学習>調整中 <事後学習>調整中</p> <p>(事前学習) 時間 (事後学習) 時間</p>
6	平嶋	<p><学習内容>学園訓「気品」「知性」「奉仕」に込められた思いを書表現する。 <事前学習>学園訓三語に込められた意味を自分なりに解釈説明できる。 <事後学習>自分の作品と友人の作品を比べ批評できる。</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
7	津村・外部講師	<p><学習内容>「履歴書作成について」と題する外部講師による講和を聴くとともに、特に『学歴』『資格・免許』などを実際に作成する。 <事前学習>就職ガイドブックに目を通しておくこと。 <事後学習>履歴書を完成すること。</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>

8	世界の宗教： キリスト教、イスラム教、仏教	石橋	<p><学習内容>宗教の誕生と必要性について考え、世界宗教としてのキリスト教、イスラム教、そして仏教について考えます。これらの教えの始まりや内容について概説します。</p> <p><事前学習>キリスト教、イスラム教、仏教について調べてくる。</p> <p><事後学習>授業で配布した資料を参考にキリスト教、イスラム教、仏教について考える。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
9	職業倫理講座	石橋	<p><学習内容>職業人に求められる倫理について考えます。どんな職業に就くにしる、正直さや誠実性、他者への敬意や守秘義務、順法精神などが求められます。これらのことを踏まえた職業人として人間形成をすることの大切さについて学びます。</p> <p><事前学習>職業倫理について調べてくる。</p> <p><事後学習>授業で配布した資料を参考に職業倫理について考える。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
10	履歴書作成 (1)	大石	<p><学習内容>就職活動に必要な履歴書の書き方 (基本) を学ぶ。</p> <p><事前学習>保有している資格の正式名称と取得時期について予め調べておく。</p> <p><事後学習>授業内で書けなかった箇所を2回目までに仕上げる。</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 1 時間</p>
11	履歴書作成 (2)	大石	<p><学習内容>履歴書の中でも書くのが難しいと言われる「自己PR」と「志望動機」について説明し、作成する。</p> <p><事前学習>事前に行なわれる純真ゼミナール「自己分析」の資料を振り返り、自己の強みや個性について考えておく。</p> <p><事後学習>履歴書を完成させキャリアセンター・就職係に提出をする。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
12	茶道	魚住	<p><学習内容>和室での礼法やマナーに則って、お客様をお招きして、おもてなしの心を感じ取る。</p> <p><事前学習>和室での歩き方などを調べておくこと。</p> <p><事後学習>ご挨拶等でのお辞儀の仕方など、学んだことを実践に移してみる。</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
13	着付け	木村	<p><学習内容>浴衣の着方の学習、基本の帯結び、立ち居振る舞いについて学ぶ。</p> <p><事前学習>着物、浴衣の成り立ち、洋服との違いについて調べておくこと。</p> <p><事後学習>浴衣、帯のたたみ方、着付け用具の扱い方について復習しておくこと。</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
14	キャリアガイダンス (4) ～外部講師講話～	津村・ 外部講師	<p><学習内容>「将来の夢を達成するために必要な事」と題する外部講師による講和を聴く。</p> <p><事前学習>将来の夢・目標を考えておくこと。</p> <p><事後学習>講演から学んだことを復習しておくこと。</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
15	まとめ		<p><学習内容>これまでの講演内容・班別活動のまとめを行う。</p> <p><事前学習>講演・各講座内容の再確認</p> <p><事後学習>講演・班別活動の振り返り</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>